

防災・減災に向けて ⑭

南三陸町地域防災計画では、住民の方々が自らを守る「自助」と地域社会がお互いを守る「共助」を防災・減災の基本としています。

先月号では、各ご家庭・企業での3日分の食料や飲料水の備蓄についてお願いしました。今月号では、各ご家庭・企業での防災会議の開催についてお願いします。

各ご家庭・企業での防災会議

この会議では、各ご家庭・企業において、次の内容について話し合いをしていただきたいと思います。

・各ご家庭・企業における食料・飲料水の備蓄

こういったものを、どのくらい備蓄しているかについて確認し、家族や社員の方々のその情報を共有します。家族・社員により備蓄品の追加を提案するなど、緊急時に役立つ備蓄に向けた取り組みの一つです。

・地震の発生時などにおける避難場所

地震の発生時などにおいて、各ご家庭・企業として避難する安全な場所について確認します。また、家族が仕事に出た後や社員の方々

が社外に出ている場合に、それぞれが避難を予定する場所について共有します。東日本大震災のような大規模災害時における安否確認にも役立つ取り組みの一つです。

・教訓の伝承

東日本大震災をはじめとし、過去の災害による経験・教訓を親から子へ、子から孫へと伝えていくことは、自助の基本と考えます。学校での防災教育に限らず、各ご家庭などで経験・教訓を話し合ってください。安全・安心なまちづくりが未来の子や孫にもつながり、受け継がれると考えます。

台風などに備えましょう

梅雨が終わるころの時期から秋雨の時期にかけては、年間で最も大雨に対する警戒が必要な時期です。秋に近づく、日本付近を通過する台風も多くなり、台風・秋雨前線の影響による大雨も増加します。

雨台風と呼ばれる台風は、梅雨前線や秋雨前線北側の寒気との接触で、大雨となるケースが多くなるものです。こうした台風・大雨への備えを日ごろから進めましょう。

○台風が来る前に

- ・ベランダや庭に置いてある飛び散りやすい物は、早めに片づけましょう。
- ・懐中電灯や携帯ラジオ、飲料水などを準備し、停電や断水に備えましょう。

○台風が近づいたら

- ・危険な場所には近づかないようにしましょう。
- ・急を要さない外出は避けましょう。
- ・テレビ、ラジオや防災行政無線を通じて提供される最新の気象情報などに注意しましょう。

問い合わせ 危機管理課 ☎46-1376

南三陸町戦没者追悼式の開催について

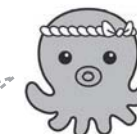
南三陸町戦没者追悼式を下記により開催します。戦没者追悼式は、日清戦争から太平洋戦争において亡くなられた当町出身戦没者に対し、哀悼の意を表すとともに世界恒久平和を願い開催するものです。ご遺族並びに関係者は、ご参列ください。

◇日時 8月31日(日) 午前10時 ◇場所 ベイサイドアリーナ文化交流ホール

問い合わせ 保健福祉課社会福祉係 ☎46-2601 (内線222・223)

住まいの再建

「住まい」「暮らし」「なりわい」の観点から、データで復旧・復興の状況を表しています。

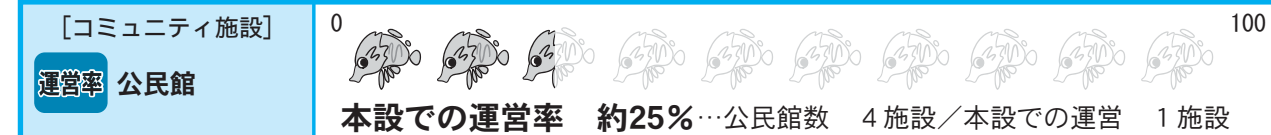


完成率 約5%…完成 41戸(6団地)



完成率 約11%…完成 84戸(入谷地区・名足地区)

暮らしに身近な公共施設の配置



なりわいと賑わいの再生



完成率 約36%…完成 42箇所



完成率 約33%…完成 73.5ha

